

2024 年度:こども園自己評価の報告書 東丘こども園

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	豊中市の全体計画のめざすこども像を基に「主体的に遊び、しなやかな心と体づくりを〜ワクワク、トキメキ、いきいきと〜」をテーマに職員全体で大切にしたいことを確認する。保護者へは、各クラスから育てほしい姿を、看護師、技能、地域支援はこの一年の目標を「ひがしおかの木」として掲示した。 仮園舎への移行期やその後の環境の変化を想定し、職員からの意見も取り入れ、アドバイザー派遣研修を進め、そしてそこで得たことを子どもたちがわくわく、ときめく活動として、音楽、運動、造形を盛り込みながら教育保育を進めた。
健康支援	・園児の発熱、下痢、嘔吐等の異変を保護者に伝え、状況に応じて迎えや受診を進める際に、環境や成長による体調変化の著しい乳幼児の理解をして頂けるよう努め、子育ての一環としても、回復に向けた対処法など見通しを持てるよう声掛けを行った。 ・保健計画に基づき、トイレの使い方、歯磨き、目の話、プライベートゾーンについてなど年齢に合わせての指導や、薬剤師と共に行う手洗い指導を行った。保健だよりについても保護者の関心や疑問等に対応できるよう情報提供に努めた。
安全指導・危機管理	・仮園舎では、誘導灯設備、火災通報装置などの機器が新しくなった。避難訓練時にベルを鳴らし、非常口から戸外への避難を子ども達も体験した。また、消防士に避難訓練の様子を見てもらい、子ども達に「おはしも」の話と職員は消火施設についてレクチャーを受けた。 ・南海トラフ地震に備え、防災グッズの点検をし、すぐに持ち出しができる非常用リュックをはじめ最低限必要と思われるものを揃えた。また、各保育室に外部からの進入を防ぐドアストッパーも備えた。 ・安全点検に関しても仮園舎版を作成し、点検項目の見直しをし、安全な環境の維持に努める。また、不備があった際には、施工業者に対応を依頼し、事故等に繋がらないよう努めた。
食育の推進	・園庭のある時期までは、ジャガイモ、玉ねぎを収穫し、カレー作りなどクッキングや翌日の給食食材（玉ねぎ、トウモロコシ等）の皮むきを行った。また仮園舎では、炊飯器を使用したケーキ作りを行った。 ・地域支援では、離乳食の紹介を実施した。
子育て支援（在園児および地域）	・配信アプリでの日々の保育、おたよりの発信、また行事、懇談会、今年度は全クラスで保育参加を実施し、保護者同士のつながりがこどもたちにも結びつく伝える。 ・地域支援では、園でこそこできるクラスの子どものとの交流や育ちの話、離乳食講座などこれからの育ちの見通しがもてるよう相談や支援を行った。

インクルーシブ教育保育	・保護者と共に、集団の中で認め、育ちあえる教育保育を進めていった。また、児童発達支援センターの巡回や別途、連携を取り、相談や指導を受け保育に活かした。
職員の資質の向上	・公開保育で子どもの姿を複数の職員で見ていくことで多面的に見たりガイドラインを活用し個々がチェックした観点を話しあったりすることで教育保育の中に活かしていった。 ・子どもの体づくりの一環として行っているリトミックを職員が講師となり、自主研修として行った。 ・多様な視点をもって教育保育を進めるため、就学前の性教育について、アドバイザー派遣研修を受け、人権研修でも討議を行った。
幼保こ小中の連携・接続	・校区の幼保こ小連絡会では、子どもたちの現状や課題を共有し、接続を意識した連携をと話し合った。仮園舎で園庭がない現状の中、5歳児が、東丘小学校の多目的室を利用させてもらったり、運動会の予行を見学させてもらったりなどもあり、学校体験も通して就学を見通した連携を行った。
評議員会	・運動会、つくって遊ぼうの異年齢交流、新年の集いをご覧いただきご意見を頂戴した。また、仮園舎での生活の様子も各保育室をご案内しながら見ていただく。特に異年齢交流の姿から関わり合いの大切さも伝えた。また、園庭がない分、近隣の園へのプールの利用をお願いしている事や千里体育館の利用、また小学校へは特に架け橋期のこともあり、例年以上に訪問させていただいていることもお伝えする。
その他	・環境部による出前講座でごみの学習を行うことで、環境への興味、関心を持つ入り口となった。 ・千里竹の会より、笹飾りの笹を頂戴し、七夕の飾りを作成し、親子で短冊に願いを書いてもらった。

○今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課 題	具体的な取り組み方法
保護者へより分かりやすい方法で教育保育を伝えていく	テーマに沿って今年度の途中から“ひがしおかの木”を作成したが、次年度はそれをどう活かしていくのか、期ごとや行事ごとなどクラス集団が成長した姿が見える形になるよう考えていく。
多様な視点で子どもや保護者に寄り添っていく	いろいろな姿を見せる子ども達への言葉掛けや思いに添い、気持ちに響く関わりを考えていく。また、職員が話やすい雰囲気を作り、保護者対応などを行っていく。

令和7年（2025年）3月31日

豊中市立 東丘こども園

園長名 豊留千加子